

うまい!

岩船米づくり情報 No. 8

平成 29 年 7 月
岩船農業振興協議会
村上農業普及指導センター

**こまめな水管理&病虫害(カメムシ類、いもち病)防除で
実りの良い、美しい穂に仕上げましょう!**

◇7月25日現在の生育状況【普及センター調査ほコシヒカリBL】

調査地点	田植日	草丈 (cm、%)		葉色 (SPAD)		予想出穂期
		本年	指標比	本年	指標差	
山北/大 毎	5/ 8	81	103	34.9	+2.4	8月11日
朝日/川 端	5/14	77	97	32.8	+0.3	8月9日
村上/山辺里	5/17	80	101	33.1	+0.6	8月8日
神林/牛 屋	5/10	80	105	34.0	+1.0	8月8日
荒川/名 割	5/16	85	106	38.2	+4.9	8月12日
関川/下 関	5/10	81	103	32.0	-2.0	8月13日
平均	5/12	80	102	34.0	+0.9	8月9日

※平均は、6地点の水稲作付面積に応じた加重平均

- 草丈：並 ●茎数：並（一部やや多） ●葉色：並
- コシヒカリの出穂期は、平年並み

【参考：新潟地方気象台7月25日発表の北陸地方3か月予報より】

気象予報では、8月は、平年に比べ、晴れの日が少なく、気温は平年並みまたは高い見込み、降水量は平年並みまたは多い見込みの確率が高くなっています。

◇出穂後の栽培管理のポイント

実りの良い、美しい穂にするために...

1 出穂25日後まで「飽水管理」をしましょう!

～飽水管理は、根の活力を維持し、実りを良くします!～

- 飽水管理は、根の活力がしっかり維持されますので実りが良くなります。実りを良くすることで、「岩船米」の味と品質、収量の向上につながります。
- 出穂25日後頃（収穫の2週間前）までの飽水管理を行い、登熟の向上を図りましょう。
※飽水管理とは?・・・水尻を止め、3～4日に1度水が無くなったらかん水する方法です。
- ただし、
- フェーン現象やダシ風が予想される場合は、あらかじめ湛水して稲を保護しましょう。
- 輪番給水地域では、通水日を確認し、効率的な水管理に努めましょう。

飽水管理・・・【足跡に水がなくなったらかん水】



稲に水分補給と酸素供給が効果的にできるんだね!♡



2 大切な根を長持ちさせるための注意点

～長期間の湛水厳禁、酸素供給と地温を下げましょう～

- ☆高温時の長期間の湛水は、根腐れの原因となるので、時々水の交換（酸素供給）を行いましょよう。
- ☆また湛水状態では夜間の地温が気温より高くなり、高温時は根の機能低下を引き起こすので、夜間落水・早朝かん水などの手段により、地温を下げましょよう。

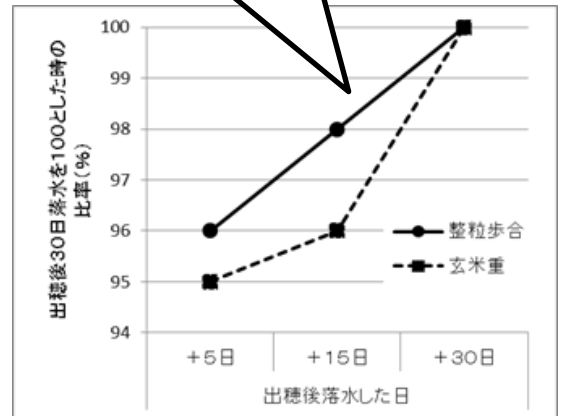
3 最終通水日を確認し、適切な水管理を！

～特に高温では可能な限り通水を！～

- ☆用水が切れる前に確実にかん水して、登熟後半の水分を確保ましょよう。
- ☆落水時期は、出穂後25日が目安ですが、砂質水田や、暑い日が続きほ場の過乾燥が懸念される場合は、可能な限り（出穂後30日位まで）延長してください。

※水不足が心配される場合は、最終通水日に水を貯めたり、暗渠排水の水こうの開放を遅くするなどの工夫も効果的です。

早期落水は品質・収量低下につながります



落水時期と収量・品質（コシヒカリ）
（昭和57、新潟農試）

～用水は限りがあります。地域全体で大切に使いましょよう～

4 カメムシ類・穂いもち防除の徹底を！

～病害虫防除で美しい穂にしましょよう～

(1) カメムシ類の防除

県病害虫防除所から「カメムシ類による斑点米多発生注意報が発表されています（7月13日）。

昨年は、早生を中心に斑点米による多くの格落ちが発生しました。

今年は、絶対にカメムシにうまい汁を吸わせないよう出穂後の薬剤防除の徹底（粉剤・液剤2回、粒剤は1回）で、斑点米による格落ちを防ぎましょよう。

カメムシ類の防除（粉剤、液剤の場合）

回数	めやす	カメムシの成長段階
1回目	出穂期の7～10日後	成虫の本田侵入期
2回目	1回目から7～10日後	幼虫のふ化終期



〈今年も斑点米が多発生の懸念〉

(2) いもち病

8月の降水量が多い見込みであることから、穂いもちの発生が懸念されます。特に、「葉いもち」が発生したほ場は、「カメムシ防除」と併せて「穂いもち」防除を実施ましょよう。